

本年の北陸地方の梅雨入りは平年より9日遅い6月20日となりました。梅雨に入りましたが、降水量の少ない日が続いています。いちほまれの生育は順調に進み、中干し時期に入っていますが、干し過ぎに注意しながら7～10日程度を目安に終了し、間断通水を実施してください。まだまだ梅雨の期間が続き、病害虫に注意して管理を行いましょう。

1. JA生育調査状況(6月26日現在)

①JA全体(移植)

年度	移植日 (平均)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色
R8	5/20	41.4	550	4.1
R7	5/18	45.0	551	4.2

【前年比】

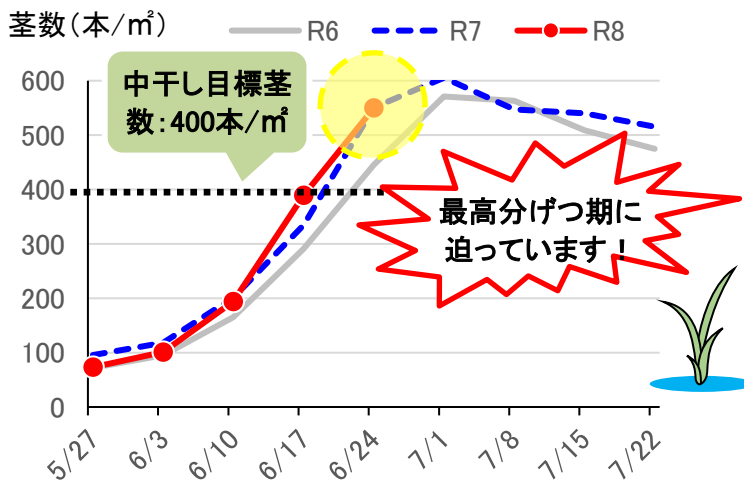
■草丈:短い ■茎数:前年並み ■葉色:前年並み

② 気象状況:6月18日～24日(平年比)

- 平均気温 : 平年並み
- 降水量 : 少ない(79%)
- 日照量 : 平年並み(+0.2時間/日)

③ いちほまれの生育状況は、草丈が短いですが、茎数・葉色は前年並みに推移しており順調です。各地区で中干し時期に入っていますが、乾かし過ぎに注意しながら管理しましょう。

2. 茎数の推移について(6月26日現在)



嶺南(おい地区) 5/12移植

3. 今後のいちほまれ栽培のポイント

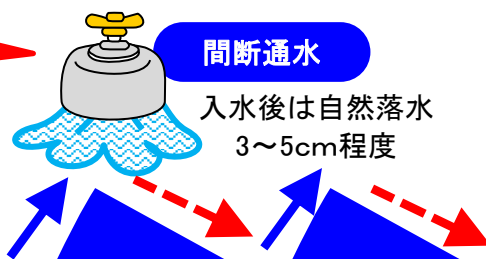
中干し

【中干し】

期間: 7～10日程度
※軽くひびが入る程度!

干し過ぎに
注意!

※ 乾かし過ぎは、
根を傷め生育
に大きく影響し
ます!



間断通水

入水後は自然落水
3～5cm程度

幼穂期(出穂25日前)

【水管理】

中干し終了後は、出穂期まで間断通水(入水と自然落水の繰り返し)を実施しましょう!

出穂期

【病害対策】

紋枯病(7月上旬ごろ)

昨年度多発生した圃場では、薬剤防除を必ず実施しましょう。また、圃場を確認し、発生が多い場合は対策を行いましょう。



■ リンバー粒剤 (予防剤)

3～4kg/10a

使用回数: 2回以内

使用時期: 収穫30日前まで

